



緑のあゆみ



第29回 都市公園コンクール設計部門(小規模)「国土交通大臣賞」受賞

第36回 緑の都市賞(緑のまちづくり部門)「国土交通大臣賞」受賞

太田川駅周辺の緑を主体とした美しい空間の創出、季節の花が咲き誇る特色ある公園づくり、未来へとつなぐ緑の保全・創出、花いっぱいのまちづくり、緑を活用した健康づくりといった、本市のこれまでの「緑ゆたかなまちづくり」の実績と成果が高く評価され、部門の最上位である「国土交通大臣賞」を受賞しました。



緑の拠点創出

～緑に彩られた、まちの顔～

公園整備

～個性豊かな、憩いの公園～

緑の保全と創出

～緑をまもり、緑をつくる～

花と緑いっぱいのまち

～美しく潤いのある生活～

健康づくり

～緑あふれる空間で、健康に～

緑はまちの景観に彩を与え、生活に憩いとやすらぎをもたらしてくれる大切な存在です。東海市では太田川駅を拠点に据え、緑を主体とした駅前空間づくりを行うほか、四季折々の花を楽しめる個性豊かな公園づくり、市と市民とがいっしょになつてまち全体に花をひろげるまちづくり活動、自然を感じながら運動を楽しめるウォーキングコースを整備するなど、緑ゆたかなまちづくりと潤いのある暮らしを目指した取り組みを行なっています。

The Story of Greenery

Greenery is a vital part of the cityscape, giving it color and imparting a sense of relaxation and ease. In Tokai City, we are working to make the cityscape green and to provide a pleasant and positive lifestyle. Otagawa Station is the starting point, where we are building green-focused spaces in front of the station. As well, we create unique and distinct parks with flowers that can be enjoyed all four seasons, run initiatives in which the city and citizens combine forces to plant flowers throughout the city, build walking courses that enable people to enjoy exercise while experiencing nature, and more.

緑あふれる 太田川駅

本市の玄関口である太田川駅は2011年に3層構造の高架駅となり、広場、歩道、公園、公共駐車場が整備され、四季折々に緑や花が周辺を彩ります。「駅前ロータリー」では、市の木くすのきと市の花さつきが訪れる人を歓迎し、「ニルフェルの泉」には、姉妹都市であるトルコ共和国ブルサ市ニルフェル区にちなんで睡蓮(トルコ語でニルフェルの図柄がデザインされた大理石のベンチが設置され、ひとときのくつろぎを提供します。

また、ナンキンハゼが連なる「ナンキンハゼの森」、6月には満開のアジサイが楽しめる「森の小径」、樹齢1500年以上の淡墨桜の子孫を植樹した「みまもり桜(淡墨桜)」、市の花である洋ランを描き、壁面緑化を行う「太田川駅東公共駐車場」、日米友好の証として植樹されたハナミズキと、淡墨桜やバラなどが楽しめる「大田公園」など、緑あふれる美しいまちなかの実現しました。幅員50mの歩道の中にある「ごんてん広場」では、さまざまなイベントが年間をとおして開催され、にぎわいあふれる市民の憩いの場となっています。





桜まつりには多くの花見客が訪れます。



秋にはイロハモミジやヤマモミジなどの紅葉が楽しめます。



大池公園

東海市のほぼ中央、市役所の北側に位置する公園で、桜まつりや花しょうぶまつり、花火大会には多くの市民が訪れます。野鳥や草花の観察などの自然とのふれあい、散策路でのウォーキングや温水プール、多目的広場での健康づくり、遊戯広場や動物舎、芝生広場といった子どもの遊び場など、それぞれのニーズに合わせた楽しみ方ができます。屋内の休憩施設もあり、1日ゆったりと過ごせます。

大窪公園

屋根つきの共同かまどを備えたキャンプ場があり、キャンプファイヤーもできる公園。春には桜の中でバーベキューを楽しむことができます。加家公園と「メルヘンブリッジ」でつながり、また、加家公園にまたがって整備された「ツバキの小径」には約200品種・690本の大小のさまざまなツバキが並び、3月頃に見頃をむかえます。



聚楽園公園

ヤカン池を中心に保健福祉センターと共に「しあわせ村」として、すべての世代の方に楽しんでもいただける公園です。温浴施設やプールがある健康ふれあい交流館、茶室「嚶鳴庵」、バーベキューができるキャンプ場、遊具のあるトリム広場などが配置され、四季をとおり美しい植物が観察できます。公園に隣接する高さ18.79mの聚楽園大仏は、東海市有数の観光スポットです。

加家公園

大池公園と聚楽園公園を結ぶ「平洲と大仏を訪ねる花の道」として再整備され、「メルヘンの森」「学の広場」「行の広場」の3つのエリアに分かれた緑豊かな公園。展望台からは聚楽園大仏や名古屋港が一望でき、細井平洲が見た眺めを体験することができます。夜には名古屋港や工場群に明かりが灯り、絶好の夜景スポットとなっています。



星城大学南側の万葉の広場に立つ若き日の平洲像



平洲と大仏を訪ねる

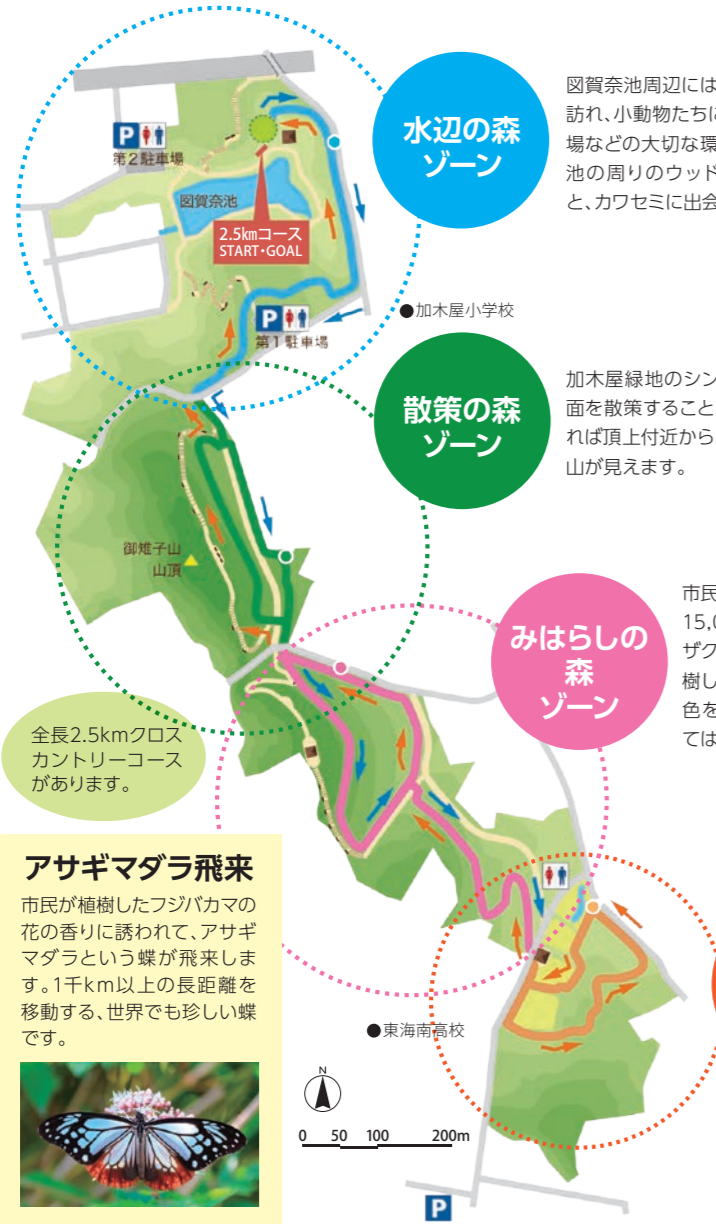
大仏を花の道





加木屋緑地

東海市加木屋町にある御雉子山は、海拔59・2mと市内で最も標高が高く、眺望に優れています。また、その周辺には、まとまりのある自然林が残っており、昔ながらの里山的な風景が広がっています。このような貴重な場所を将来まで残していくため、「自然環境再生拠点」として、貴重な緑を保全し、新たな緑を創出することで市民が身近に自然とふれあうことができる緑地を整備しました。緑地は4つのゾーンに分かれており、それぞれの特徴を楽しみながら散策ができます。



水辺の森ゾーン
 図賀奈池周辺には、多くの野鳥や昆虫が訪れ、小動物たちにエサ場、隠れ家、産卵場などの大切な環境を提供しています。池の周りのウッドデッキを歩いていると、カワセミに出会えるかもしれません。



散策の森ゾーン
 加木屋緑地のシンボル御雉子山の東斜面を散策することができます。晴れていれば頂上付近から、北北東の方向に御嶽山が見えます。



みはらしの森ゾーン
 市民参加による植樹祭で、15,000本の苗木と、ヤマザクラ、シダレザクラを植樹しました。あずまやで景色を見ながら休憩してみたいいかがでしょうか。



成長の森ゾーン
 成長の森ゾーンは、もともと竹林や田畑だったところをドングリのなる木を中心に高木を植え、里山の自然を保全しながら郷土の森を育てています。20年、30年先を見据えた森づくりを考え、郷土の自然を未来につなげていきます。



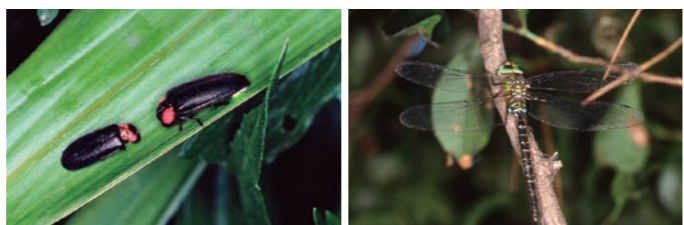
アサギマダラ飛来
 市民が植樹したフジバカマの花の香りに誘われて、アサギマダラという蝶が飛来します。1千km以上の長距離を移動する、世界でも珍しい蝶です。



市制50周年記念事業 (詳しくはP62へ)

ふるさと再生・環境整備

ホタルやトンボなどの身近な生きものが生息する「ふるさとの自然」の再生に取り組んでいます。



21世紀の森づくり事業

都市の環境づくりに欠かせない緑は、市民の生活にとってとても大切な存在です。市内に残っているまとまりのある緑を可能な限り保全し、21世紀の森づくり事業などによって新たな緑を創出し、ゆたかな緑を未来に遺していきます。東海市では、平成16年度から市民参加による「21世紀の森づくり」を推進し、これまで市内8箇所合計14万本の苗木を植樹しました。「愛すべきふるさとの森」を後世に遺していくために、これからも市民と一体となって本物の森づくりを進めていきます。



利用者インタビュー



加木屋緑地には、市内でほかの場所には無くて、ここにしかない魅力があります。その最大の魅力は眺望がよいこと。名古屋の高層ビル街から、御嶽山、恵那山、猿投山、遠くアルプスの山々も望むことができます。そのほかには御雉子山を中心に、まとまった自然が残されていること。特に、秋の七草のフジバカマが満開となったお花畑の中を、旅する蝶アサギマダラが優雅に舞い飛ぶ風景は、市民の関心が高く、東海市周辺の人たちも訪れています。この加木屋緑地のような、ふるさとの自然再生は、市民の財産になると思えますし、東海市にはこんないいところがあるんだと、自慢したくなります。

楽笑クラブ 布施克紘さん



花と緑の まちづくり

まちを彩る花は美しく豊かな景観をつくり、潤いと安らぎをもたらしてくれます。東海市では、市民の協力のもと、花と緑豊かなまちづくりを進めるさまざまな活動を行なっています。平成15年には「東海市花のまちづくり運動推進委員会」を設立し、道路脇の花壇やプランターへの花の植え付け、種子の配布などの啓発活動を行い、花いっぱい住みよいまちを目指しています。その環として、美しい花壇をつくる家庭、保育園、学校、共同花壇を5部門に分け審査・表彰する「花壇コンクール」を春と秋に実施しています。

また、「ゴミの捨てられない道路」を目指した西知多産業道路の「環境美化の推進」、市民が里親となり、市内の公共施設の清掃、除草、花の植え付け、樹木や花への水かけを行うボランティア活動「アダプトプログラム」など、市民と共に花がひろがるまちづくりを進めています。ほかに、全国有数の出荷量を誇る洋ランを「市の花」と定め、東海市オリジナル洋ランの開発や、毎年1月に「東海フラワーショー」を開催し、洋ランを始めとする市内で生産される花卉のPRを図っています。



健康 づくり -緑のあゆみ-



ペース体感ゾーン

市内の10箇所公園・緑道に、ウォーキングペース体感ゾーンを設置しています。路面に描かれたへいしゅうくんという★が目印です。公園へ行って探してみてください。自分にあったウォーキングペースが確認できます。

☆ウォーキングペース体感ゾーンは10箇所の公園・緑道に設置しています。

- ・平地公園・聚楽園公園・加家公園・加家緑道
- ・大池公園・上野台公園・元浜公園
- ・公家緑道・大堀緑道・加木屋南公園

健康器具

公園を子どもから大人まで幅広い方々に利用していただくため、健康器具の設置を進めています。色々なタイプの健康器具を利用することで、簡単に体力チェックなどが行えます。



クロスカントリーコース

加木屋緑地には、緑あふれる環境の中、景色を楽しみながら健康づくりやトレーニングを行うことができる1周2.5kmのクロスカントリーコースがあります。アップダウンに富むコースを上り下りすることにより、心肺機能と脚筋力のバネが鍛えられます。適度にデコボコのある不整地を走ることににより、しなやかなバランス感覚が養われ、身体の軸が安定したランニングフォームが身につきます。

ウッドチップの柔らかい路面は、脚への衝撃が緩和され、トレーニングによるケガの心配が軽減されます。



クロスカントリーコース 監修者インタビュー

自然を身近に感じながらトレーニングできることが最大の魅力です。森の中からキツネが飛び出してコースを横切ったり、ウグイスの鳴き声が聞こえたりする中を走るのは、とても気持ちがいいです。多くの市民ランナーやウォーキングの方がクロスカントリーコースを利用してあり、ご年配の方も、ウォーキングなどで、日常の運動に利用できると思います。また、陸上競技の選手や子どもたちには、ここでトレーニングに励み、全国大会やオリンピックを目指してほしいですね。

愛知製鋼陸上競技部監督 児玉泰介さん

